

ぶらぶら
新宮歩楽歩楽マップ
ヤタガラスの弥之助の『温故知新』

C……コンビニ
GS ……ガソリンスタンド
→ ……一方通行

三輪崎・佐野地区



たまきしんきち
玉置真吉(1885-1970)

熊野市紀和町花井の生まれ。新宮市
熊野川町九重小学校を卒業し、同校
で教員をしていた。花井と九重は川を
挟んで向かい合っている地区。日本の
社交ダンスの黎明期に活躍しダンス
王と呼ばれた。大石誠之助と親交が
あったため大逆事件の影響で教師を
止めざるを得なくなり、神戸で活躍し
ていた賀川豊彦の下で手伝いをする
(賀川のベストセラー『死線を越えて』
では真吉は「高見」で登場)。その後、
西村伊作の文化学院の事務長を
経て昭和初めに社交ダンス教室を
始めた。自伝『猪突人生』がある。

せこうこういち
世耕弘一(1893-1965)

衆議院議員で、近畿大学の創立者。
新宮をはじめ熊野各地に同大学
の附属高校や研究所がある。
西敷屋で生まれ、宮井の福泉寺
に墓がある。

たいらのただのり
平忠度出生碑(平安末期)

熊野川町音川生まれといわれている。『平家物語』
では一章を割き、平家都落ちの際引返して藤原俊成
に家集を預けたエピソードが有名。後、俊成が撰した
『千載和歌集』に「さざなみや志賀の都はあれにしを
むかしながらの山ざくらかな」の一首が読み人知らず
で入選。忠度は一の谷で戦死する。

山をぬって流れる熊野川は
世界遺産だよ。
上流の瀧峡へはジェット船が
志古から出てるからね。
杉舟での川舟下りも楽しいよ。



やのすけ
弥之助

高田・熊野川町地区

新宮市立図書館
「新宮文化人案内図」

新宮市井の沢4番15号
0735-22-2284
2012.3

くるすまごそう
久留守孫総(室町時代の人)

高田を開いた人で雲取温泉の近くに墓がある。孫
総は那智山参詣の途次、妖怪ヒトツタタラに襲われ
たが狼の群れに助けられた。その際、お礼に私が
死んだら死骸をあげましよう約束するが、日にちが
経つにつれ惜しくなり、屋敷の周りに城壁のような垣
を巡らして死骸を取られないようにして、その後亡く
なった。しかし翌日死骸は掘り返されて無くなって
いたという伝説が残っている。

西行法師の歌碑
「雲鳥やしこの山路はさておきて
をくちかはらのさびしからぬか」
が建立されている。

熊野古道大雲取越(世界遺産)